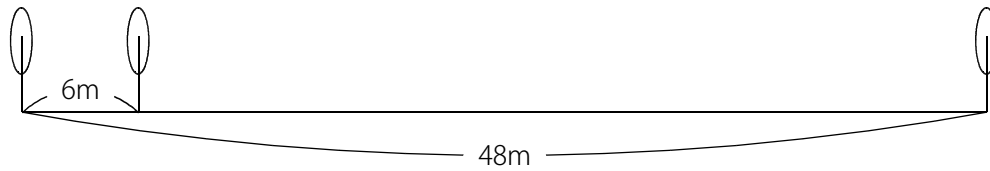




例題と解説

例題 1

長さ48mの^{どうろ}道路のかた^{がわ}側に、6mおきにはしからはしまで木を植えます。木は全部で何本^{ひつよう}必要ですか。



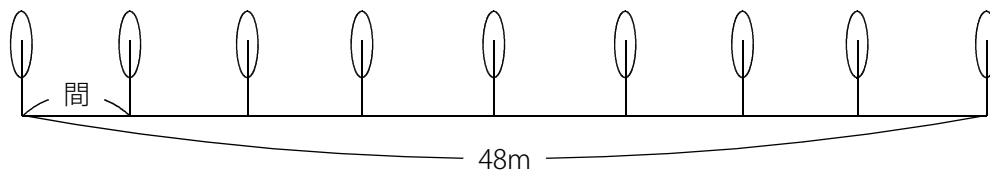
答え 9本

[例題 1 の解説]

^{あいだ}間の数と木の本数の関係に注意しましょう。

$48 \div 6 = 8$ なので 間の数は8個

両はしに木を植える場合は (木の本数) = (間の数) + 1 なので $8 + 1 = 9$ (本)



例題 2

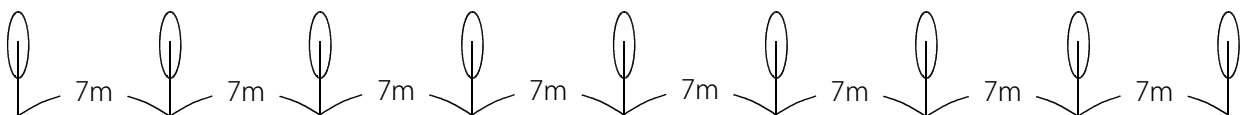
ある道路のかた^{がわ}側に、7mおきにはしからはしまで木を植えたところ、木は全部で9本必要でした。
この道路ははしからはしまで何mですか。

答え 56m

[例題 2 の解説]

両はしに木を植えるので (木の本数) = (間の数) + 1

木は全部で9本なので、(間の数) = $9 - 1 = 8$ (個)。よってこの道路ははしからはしまで、 $7 \times 8 = 56$ (m)





例題と解説

例題 3

長さ30mの道路のかた側にはしからはしまで同じ間かくで木を6本植えます。木と木の間は何mですか。

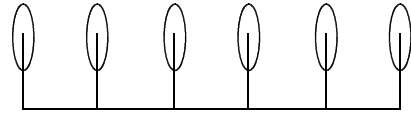
答え 6m

[例題 3 の解説]

両はしに木を植えるので (木の本数)=(間の数)+1

(木の本数)=6 なので (間の数)=5。 $30 \div 5 = 6(m)$

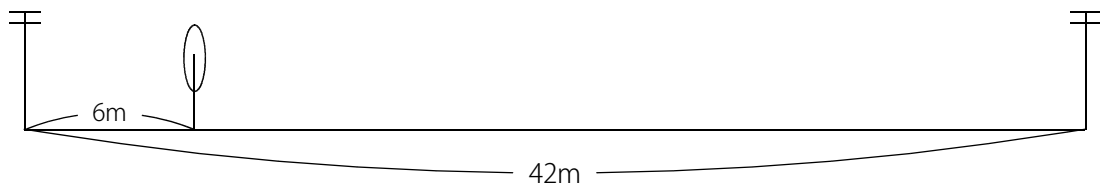
※ $30 \div 6 = 5(m)$ としないように気をつけましょう。



例題 4

長さ42mの道路のかた側の両はしに電柱が立っています。電柱と電柱の間に6mおきに木を植えます。

木は全部で何本必要ですか。



答え 6本

[例題 4 の解説]

両はしに木を植えない場合は (木の本数)=(間の数)-1

(間の数)= $42 \div 6 = 7$ なので (木の本数)= $7 - 1 = 6(本)$

図を書いて数えてみましょう。



例題と解説

例題5

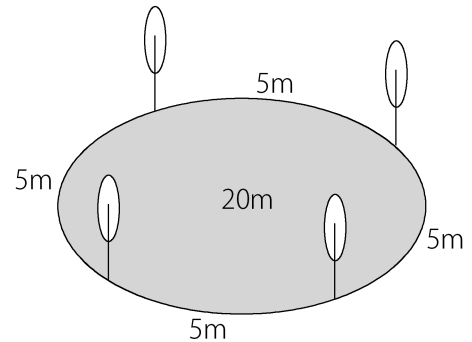
まわりの長さが20mの池があります。この池の周りに5mおきに木を植えます。木は全部で何本必要ですか。

答え 4本

[例題5の解説]

池の周りに木を植える場合は (木の本数)=(間の数)

(間の数)= $20 \div 5 = 4$ なので (木の本数)=4(本)



例題6

長さ60mの道路のかた側に、10mおきにはしからはしまで木を植えます。さらに木と木の間には2mおきにくいを打ちます。木とくいはそれぞれ何本必要ですか。



答え 木：7本，くい：24本

[例題6の解説]

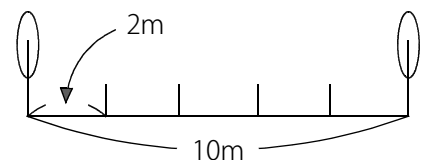
両はしに木を植えるので (木の本数)=(間の数)+1

(木と木の間の数)= $60 \div 10 = 6$ なので (木の本数)= $6 + 1 = 7$ (本)

木と木の間は10mなので、(くいとくいの間の数)= $10 \div 2 = 5$

両はしにくいはないので、それぞれの木と木の間にくいは $5 - 1 = 4$ (本)

(木と木の間の数)=6 なので、 $4 \times 6 = 24$ (本)





例題と解説

ポイントまとめ

- ・両はしに木を植える場合 ^う ^{ば あい} (木の本数)=(間の数)+1
- ・両はしに木を植えない場合 (木の本数)=(間の数)-1
- ・池の周りに木を植える場合 (木の本数)=(間の数)
- ・おぼえるのではなく、はじめは図を書いて数えてみましょう。